早期教育プロジェクト2025 in 東京

チェロ部門

2025年11月9日 [日] 14:15 開講 東京藝術大学音楽学部 第2ホール 講師 中木 健二 (東京藝術大学音楽学部 准教授) / ピアノ 髙木 美来

14.25	受講生① (小4)	ハイドン:チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Hob.Vllb:1 第1楽章
-------	-----------	-------------------------------------

15:10 受講生② (小4) ゴルターマン:チェロ協奏曲 第4番 ト長調 Op.65 第1楽章

15:55 受講生③ (小5) ヴィヴァルディ:チェロ協奏曲 ニ長調 Op.3-9 第1楽章

* * *

16:50 受講生による発表会

* * *

17:35 藝大生による演奏披露 チェロ:山下 凱冬 (東京藝術大学音楽学部3年)

J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第5番 ハ短調 BWV1011 より

プレリュード、サラバンド

シューマン:民謡風の 5 つの小品 Op.102

18:05 講評・質問タイム

※公開レッスンを受講するお子様(小・中学生)のプライバシー保護の観点より、関係者(保護者・取材)および本学公式スタッフ以外の会場内での録音・録画および写真撮影は、固くお断りいたします。

早期教育プロジェクト2025 in 東京

藝大と地域とが協働して取り組む、逸材発掘プロジェクト。2014年度に文部科学省国立大学機能強 化事業の一環として始まり、藝大教員が日本各地に赴いて、子どもたちにレッスンを行います。

東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」は、音楽家を目指そうという子どもたちの夢を応援することを目的に2014 年度に始まりました。全国のホールや自治体、さまざまな団体の皆さまに支えられ、また2018年度からは全日本空輸株式会社様からのご支援もいただいて、本学の教員が全国各地を訪れています。12期目となる2025年度は8都市での開催を予定しています。少子化や経済的理由による芸術家の道を歩む若者が減少し、しかもかなり早い段階で夢を断念してしまうという状況は簡単に変わるものではありません。しかし各地で子どもたちの瑞々しい感性とスポンジのような吸収力、来場した皆さまの音楽への熱量に触れるたびに、互いに刺激し合い音楽を深めることの意義を感じています。このプロジェクトが一つのきっかけととなって、夢へ向かう気持ちや音楽することの喜びが地域にいっそう広がることを心から願っています。

東京藝術大学音楽学部長 杉本 和實



©塩澤秀樹

講師

中木 健二 (なかぎ けんじ)

東京藝術大学を経て渡仏。パリ国立高等音楽院、スイス・ベルン芸術大学ソリスト・ディプロマコースの両校を首席で卒業。第5回ルトスワフスキ国際チェロコンクール第1位。第16回 FLAME音楽コンクール(フランス)優勝。第1回Note et Bien国際フランス音楽コンクールでグランプリならびにドビュッシー特別賞、ブーレーズ特別賞受賞。紀尾井ホール 室内管弦楽団メンバー。第11回名古屋音楽ペンクラブ賞受賞。現在、東京藝術大学音楽学部准教授。



©Ayane Shindo

ピアノ

髙木 美来 (たかきみき)

名古屋市出身。東京藝術大学器楽科ピアノ専攻を経て東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。全日本学生音楽コンクール名古屋大会第2位、春日井市音楽コクール第1位、中日賞。日演連推薦・新人演奏会に合格、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。かずさアカデミア音楽コンクール入選。カワイ表参道フレッシュコンサートシリーズ出演、2018年日系移民記念行事に招かれハワイ島ヒロにてソロリサイタルを開催、好評を博す。近年では室内楽、共演ピアニストとして活躍、東京春音楽祭2023、浜離宮ランチタイムコンサート(2024)をはじめとする演奏会への出演、TV・FM収録等の共演機会も多い。コンクールや音楽講習会で公式伴奏者を定期的に務めるなど、各方面からの信頼も厚い。東京藝術大学ピアノ科非常勤講師、弦楽科非常勤講師(伴奏助手)を経て、現在、同大学ピアノ科教育研究助手。



藝大生による演奏

山下 凱冬 (やましたかいと)

幼少よりピアノを始め、武蔵野音楽大学付属音楽教室にてチェロを始める。 都立総合芸術高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部3年在学中。第40回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第2位。第25回日本演奏家コンクール 大学生の部第3位。第78回全日本学生音楽コンクール大学の部東京大会奨励賞。 上山音楽祭~ル・シャトーかみのやま~、第2回、第3回アカンサス音楽祭に参加。 これまでに山﨑みのり、北垣彩、中木健二、山本大の各氏に師事。